

「地域密着型金融推進計画」

(平成21年度～平成24年度)

富士信用金庫

1、はじめに

当金庫では、平成15年3月に金融庁から公表された「リレーションシップバンキングの機能強化に関するプログラム」、平成17年3月に同庁から公表された「地域密着型金融(リレーションシップバンキング)の機能強化に関するアクションプログラム」に基づき、「地域密着型金融推進計画」を策定し、平成15年4月～平成19年3月の4年にわたり地域密着型金融を推進してまいりました。

金融庁が策定した2次にわたるアクションプログラムと当金庫の「地域密着型金融推進計画」は、前述のように平成19年3月で終了しましたが、当金庫では、さらなる地域貢献のために、恒久的な施策として地域密着型金融を推進していきたいと考え、平成19年4月から平成21年3月までの2年間にわたり「地域密着型金融推進計画」を策定し、推進してまいりました。

平成21年4月からは、地域密着推進計画を当庫の3か年事業計画(ふじしん「つなぐ力」発揮2009)に組み入れ、今後も推進してまいります。

2、当金庫のめざす姿

当金庫では、「地域社会の繁栄に貢献する」、「信用の高揚と堅実経営に徹する」を基本方針とし、当金庫の強みである「店舗ネットワークの緻密さ」や「きめ細やかな営業活動」を活かし、お客様にとって「近くて便利な」、「きめ細やかで親切な」、「長いおつきあいのできる」金融機関となることを目指してまいりました。

しかし、今後は、さらに次のことを目指し、「使命共同体」の中核となって、地域経済の再生・活性化に向け信用金庫の真価を発揮して行くことを推進してまいります。

- ・お客様に金融商品・サービスの提供をするだけでなく、情報の提供や提案・アドバイスを通じて信用金庫の資源のすべてを利用いただき、お客様にとって、より満足度の高い金融機関となることを目指します。
- ・常にお客様のニーズを把握し、迅速にお客様のニーズにお応えできる金融機関となることを目指します。同時に、お客様からの要望にお応えできる強い経営体質を確立するよう努力します。

3、具体的な取組み

本計画は、以下の3項目を基軸として策定いたしました。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援
2. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給方法の徹底
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

これらの主たる方針を実現するために、以下の具体的な施策に取り組んでまいります。

(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援

創業・新事業支援

・融資審査態勢の強化

「目利き」研修プログラムへの参加、審査能力向上のための金庫内外研修会の実施、地場産業を主体とした「業種別研究会」の開催などにより融資審査態勢の強化を図ります。

・産学官の連携強化

静岡大学と技術・研究開発や地域活性化の分野で連携を強化します。

・外部機関等との連携強化

(財)しずおか産業創造機構が設立する「スタートアップファンド」、富士商工会議所「シニアアドバイザー創業支援サービスセンター」、ビジネス交流会「知恵の輪」、富士市中心市街地活性化「富士TMO構想」活動などとの連携を強化します。

経営改善支援

・中小企業に対するコンサルティング機能、情報提供機能の一層の強化

融資部経営支援課を専担部署として、取引先企業に対する経営相談・支援で得られた情報を活用し、問題解決型のソリューションビジネス機能強化を実践する。

・中小企業支援スキルの向上を目的とした取組の強化

商工会議所との連携による地域経済動向の把握や「富士地域OB人材活用協議会」との連携による中小企業の財務・経営管理能力向上の支援に取り組めます。

事業継承

・M&Aのマッチング支援

後継者不在の企業に対してM&Aを活用し、後継者問題を活用するとともに、既存取引先の深耕化、新規取引に取り組めます。

事業再生

・「静岡県中小企業再生支援協議会」との連携強化

静岡県中小企業再生支援協議会との連携をさらに強化し、事業再生が必要と思われる取引先企業を支援します。

・「静岡県中小企業再生ファンド」の活用

・再生支援実績に関する具体的な情報開示

・事業再生スキル向上のための金庫内の「目利き」研修会を実施します。

- ・「事業再生保証制度」の活用
- ・「事業再生円滑化関連保証」の活用
- ・「再挑戦支援保証」の活用

(2) 事業価値を見極める融資をはじめとする中小企業に適した資金供給手法の徹底

事業価値を見極める融資(不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資)の徹底

- ・システム格付と債務者区分の整合性を図り、事業価値を見極める融資に取り組みます。
- ・各種「目利き」研修プログラムに参加するとともに金庫内外の研修会を計画・実施します。

その他中小企業に適した資金供給手法の徹底

- ・シンジケートローンの推進
- ・私募債の推進

【目標】

シンジケートローン	3 先
私募債	3 先

(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域面的再生

- ・産学官の連携によるビジネスフェアの推進
- ・富士商工会議所主催の異業種交流会「知恵の輪」への参加
- ・地域振興助成制度の研究・検討
- ・富士商工会議所主催「バイオマス研究会」への参画
- ・利用者の声を取り入れるためのアンケート実施

地域活性化につながる多様なサービスの提供

- ・NPO法人による介護福祉事業の支援
- ・子育て支援
- ・多重債務者の支援
- ・ふじしん講演会の開催
- ・ふじしん経済研究会を活用したセミナーの開催
- ・インターンシップ受入を図る。